

CFCC を緊張材・補強筋に使用した港湾 PC 床版
＝ 平成 28 年度 釧路港西港地区-14m 岸壁床版その他工事 ＝

北海道の釧路港は、平成 23 年には穀物の国際バルク戦略港湾に選定され、平成 26 年度から国際物流ターミナルの整備事業が着手されました。西港地区に水深-14m の岸壁を整備する工事が行われています。

岸壁にはジャケット式栈橋構造が採用され、上部に施工される床版は、一般部に RC 床版、ベルトコンベアや建屋下等、床版の補修、交換が困難な箇所 41 枚には、CFCC を緊張材・補強筋として使用した PC 床版が採用され、平成 28 年度に製作、設置工事が行われています。

CFCC 床版は、工場で製作されたプレテンション床版を現場近傍のヤードで 3 枚を一体化するポストテンション緊張工事を行い、台船で運搬し岸壁に架設されています。

今回北海道の厳しい自然環境を鑑み、耐久性を考慮した設計の一環として CFCC が採用されました。国内ではこれまでにない規模の工事であり、今後全国の港湾整備工事等への波及効果が期待されます。



写真-1 栈橋施工位置図

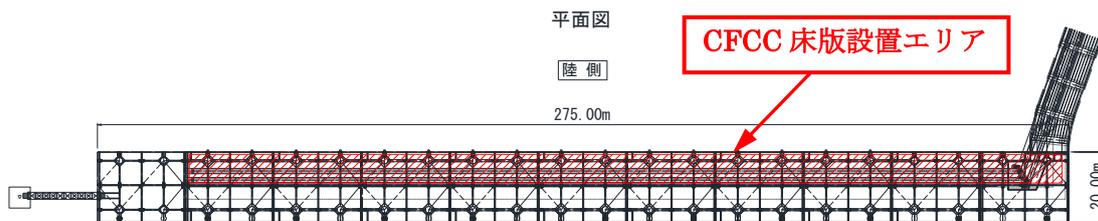


図-1 栈橋床版位置図

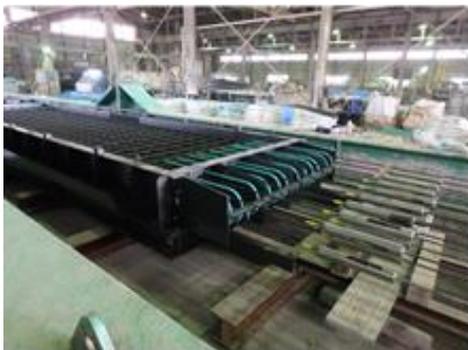


写真-2 プレテンション方式



写真-3 ポストテンション緊張用端末
(グラウト強度発現後切断)

